

ぼんけん

345 インク男



大崎短歌会

兼題「梅・自由」

梅干しを口にふふみてつぶやきぬ

「今年梅漬けどうしよう」と

満開となりたる梅の根元掘り

牛の胎盤深く埋めたる

如月の里の小道の梅が枝に

春を告ぐるや鶯の歌

大寒の見上げる先に梅の花

春の足音微かに聞こゆ

畑畦に高く積みたる小枝より

実には成らざる梅咲き初むる

ろう梅のイエローベリルに芳香の

貴婦人に添う春風まとう

庭先の仄かな香り蝨梅や

霜柱踏み春の訪れを

穂園芳江

本後淑子

実吉安仁

栞山重子

山下海征

川崎健一

井元かず子

こぼれ梅もよりの布巾朱色よき

寒き厨に春をひた待つ

張りつめし寒の帰り路夕影に

手術終へりと白梅告ぐる

薩摩郷句

兼題「返事」

上南紀子

馬場みさ

返事が無し 生きつちよいかち 心配をえつ

(唱) 窓ガラス割つ 入い事じゃるか

遠矢耐多

訪つたや 牛が穏ち態で 返事ずばしつ

(唱) モー言て側い 寄つ来て挨拶

諸木小春

返事もせん 遺影い挨拶つば 毎日しつ

(唱) 今日も気張れよち 神棚亡ん母

上窪小絵

返事しやすいが 腰しゃ上げん亭主し 火の叫つ

(唱) 早よせんね言て テレビも消せつ

満石うらら

返事じゃしたが 何い買け来たけ 女房け電話

(唱) しっかい聞かじ 用事じゃつ忘れつ

西ノ園ひらり

好つ言たて 返事がピースじゃ 情熱も冷めつ

(唱) こしこん娘かち がつかいじやつた

井上三ちゃん

はいはいち 返事しゃ軽いかどん 尻や重ぶし

(唱) 返事のぶんな良が 本当ち歯痒いか

藤元鬼瓦

朝戻い 十日も返事じゆせん 情強え女房

(唱) 残業じゃつたて 解らんか女房

上村牛歩

返事じゆせんな 同つ事つまた 煩し爺

(唱) 聞こえちよつどち 女房は耳む塞つ

二見愚染満

返事し待つの 友達とラインで 本音しゆ語つ

(唱) 声どま出さじ ついつい本音

下橋清天

飼猫どが 何処けはつ行たか 返事も無し

(唱) ミイ寂ん無が 帰つ来つくれ

長重リリー

青年振いで 返事が重び態の 見合写真

(唱) 鼻も背も低き 理想と違ごが

北村虎王